

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページも見て下さい。 www.tomichokyo.or.jp/yo.or.jp
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

インクルーシブ就労にめざして、講師・当事者・支援者が熱く語る!!

第14回障害フォーラムinとやまの報告



9月7日(日)午後1時より富山県民会館304号室にて開催。105名の参加がありました。

まず、社会福祉法人恩賜財団済生会理事長の炭谷茂氏(富山出身)が「インクルーシブ就労をめざして～国際的潮流の中で考える～」を題して基調講演。炭谷先生は、障害フォーラムで講演いただくのは2回目です。今回は、自身の海外視察を通して自治体や一般企業の協力を得て、障害者が福祉就労だけでなく、障害のない人と同じ職場で一緒に働くための支援についての取り組みなど、障害者が地域においてソーシャルインクルージョン(社会的包摂)をどのようにつくっていくかを熱く話されました。

シンポジウムでは、精神障害者、障害者就労支援事業所の理事長、障害者就業・生活支援センター長といった当事者、支援者のそれぞれの立場で「就労支援から地域共生社会を考える」をテーマに発表をしました。

講演・シンポジウムに対して、参加者から「個人と社会をつなぐ役割を持つ中間組織の力が必要だと感銘を受けた」「当事者が病気のつらさを堂々と発表された」と感想が寄せられました。



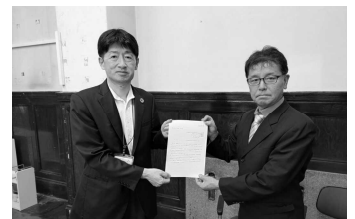
* * * * *

県に全国ろうあ者大会の補助金等要望を行いました

9月17日(水)午後2時から、県庁で要望懇談を行いました。最初の30分間は、県教育委員会教育みらい室特別支援教育課、午後3時から1時間は県障害福祉課。まず当会理事長からそれぞれの課長に要望書を手渡ししてから話し合いました。

県からの回答等詳細については、11月号にて掲載します。
主な要望事項は次の通り。

1. 第74回全国ろうあ者大会inとやまへの補助金の交付
2. 意思疎通支援事業の充実
3. 国の手話施策推進法に基づく施策の充実
4. 県聴覚障害者センター運営に係る職員増を含む補助金の確保
5. 聴覚障害者に配慮した災害対策
6. 難聴児等の支援
7. 聴覚障害高齢者の福祉の充実
8. 公共施設のバリアフリー
9. 聴覚障害者の就労環境の改善
10. 聴覚障害教育の充実



センター利用の実績

8月21日～9月20日

- 来所者合計約 570名
聴障者約222名、健聴者約348名
- コミュニケーション支援 128件
- ライブラリー貸出 2件4本
- 相談対応 5件 ●部屋貸出 33件

★センター運営募金・募集
郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者
センターを支える会
よろしくお願ひします。